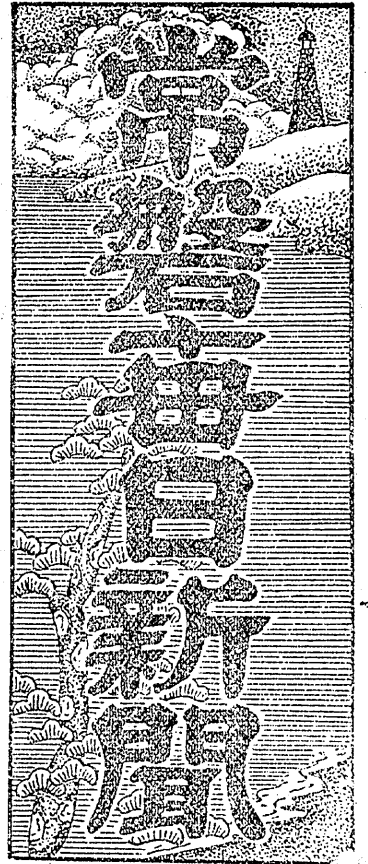


【刊夕】日三十月三



第五號郵錢十五月一 錢貳金部一 價定
錢十五行一 詰字三十號五 料告廣
治文 崎川 人刷印人辨編筆行發
五三町橋長町平部城石縣島福
番〇三六話電 社聞新日每警常 所行發
社合式株刷印日每警常 所刷印

何が農村をこうしたか

小宮 永芳

最近における米價の統計を觀るに先年好景氣頃は三斗五升入一俵にて十八圓以上もした事が有り、それは例外番外としても其後濱口内閣前迄は十二圓位にて賣買して居つたが、濱口内閣成立以來極端なる緊縮政策無茶な金解禁を強行せし結果收穫したる米を賣りかねる程の安價、おどろくなく四斗一升入一俵にて僅か五圓とはなさない。夏の初めより炎天の草取、それからの手入も水の泡、骨折損のくだびれもけ所でないなほ損で有る。新聞等に過去にない豊作等と宣傳するも事實測りたるのでなく我が附近の状態を觀察しても平年作より少い不作で有るに於ては、如何に世間廣しと云ふも彼等の宣傳で有ると疑はざるを得ない、又かりに豊作としても米の價が三分の一に下つたと云ふ事は、十俵取れても三俵しか取れないと同様で、多く取るのに勞役したのが又損

で有る。本當に我等農民は量に於て如何に多く取れても喜ぶ事は出来ない。それが金にかえられて初めて喜びにも悲しみにもなる事は事實である。

米に次ぐ、副産物も學校生徒の辨當だに持たせ得ない者が多いと云ふ如きみじめな生活難の爲めに、買價價格はこれも又肥料代にも満たぬ有様である。

かくの如く農村も工業地も商業地も共に或る一部の〇〇の爲めに、國民の六割以上も有る農民が犠牲をおわせられ泣くにも泣く勇氣のない程極度に行きつゝまり疲弊困憊せる農村の現状をみつめる時、流れる熱涙を禁じ得ぬと同時に無情なしかも達見なき政治家を呪はざるを得ない。

現在の農村を何がこうなしたか。云ふ迄もなく自分には極端なる緊縮政策、無謀な金解禁を強行の結果と思ふ。罪は現内閣にあり達見なき政治家の集團を倒さね

耳鼻咽喉科専門 合津醫院

九五五話電 町田仲町平

ばならない

不思議膏

奇妙に良くくハリグスリ
神経痛、かたのこり
うちみ、くぢき、リ
ウマチス、齒痛
ハツテ御覽なさい
驚くばかり特効あり
特約店

小野屋藥店

平町四丁目 電話一四四四

貰つて重寶
贈つて便利な
井三の券品商
店服吳井三

看護婦急派の求めに應じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

藤沼醫院

平町紺屋町 電話五〇七番

寒い〜北海道で出来る靈藥
胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥
松前公御典醫之秘法 家録登
家傳 藥傳商標



胃腸病で苦しむ方、心臓、腦病、痔疾、の方は是非御試し下さい、見本藥は御希望の方に進呈致しますから御遠慮御申出下さい、本藥は有り觸れた胃腸藥の様に一時抑へや習慣性になるものでなく確かに根治の目的を達します、効き目が効能書以上でアイフの三分の一安價で効はアイフ以上値段が安いものですから實際大評判の靈藥です、本藥は責任藥に付き無効の時は返金致します 定價は八日分五十錢です

靈効散 平町古鍛冶町(電話四四番)

阿康藥舖

地方代理店

浦田創立十週年記念超大王篇

原作……佐藤紅綠先生 (後篇十卷)
鈴木傳明・岡田時彦・田中絹代・藤野秀夫主演

若者よなせはが

寄贈品六日間の品割は抽籤の結果左の如くになりました
抽籤券御持参の方は忘れなく其の當夜に御來館下さい。入場なき方は無効です

三日月二十日抽籤

怪盜夜叉王 決完 市川右太衛門 旗本退屈男

抽籤日	抽籤券の割合	品目
木12日夜	い 全部	岡田時彦 二重
金13日夜	ろ 全部	田中絹代
土14日夜	は 全部	鈴木傳明
日15日夜	に 全部	川崎弘子
月16日夜	ほ 全部	筑波雪子
火17日夜	へ 全部	藤野秀夫

例へば抽籤券を持参の方は忘れなく其の當夜に御來館下さい。入場なき方は無効です

料金普通平館

貸切の御用命は?

獅子吼(四四九)ノ勢デ

眞先ニ……(マツサキ)

三九ニタクシーへ!!!

市原醫院

平町田町(電話一一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男

入院隨時

順宮厚子内親王と

御命名あらせらる

宮中におかれられては本日御命名の御儀式を擧げさせられ 順宮厚子内親王と御命名あらせらる

縣下へ激を飛ばし

酒造税軽減運動

倒産者續出に一驚し

監督局へ陳情

石城郡内酒造業者は一兩年來深刻なる不景氣の影響で賣行減少し従つて何れも營業不振にあえぎ昨年來各地に倒産者が目立つて來たので酒造組合ではこれに鑑みかねて苦境界切抜け策につき協議中であつたが結局現在の酒造税は好況時代に變らず賣値低下の今日過重であるとして軽減を當局に要求することに決し稅務監督局に陳情を試みる一方縣下十五酒造組合に檄を飛ばし進んで中央會をも動かし全國的の運動となす筈

赤井林野問題

漸やく解決

長びいた紛擾

屢報昨年十二月より役員改選を繞つて紛擾を續けてゐた赤井村大字赤井林野保護組合では其後羽賀政雄氏を組合長とする一派と根本忠松氏を擁する一派とが對立し兩々相譲らず形勢互格にあつた爲め益々問題は擴大

郡農會大會

議案作成中

石城郡農會では來る廿一日午前九時から平町農會事務所に於いて本年の郡内各町村職員並に技術員大會を開催すべく青山同會幹事の手許に於いて議案作成中であるが目下問題となつてゐる郡農會の廢止並に郡内上遠野、玉川の各村に起つた村農會の解散問題等の重大農政問題が現はれ模様で時節柄同大會の結果は多大の興味を以て見られてゐる

六年度豫算を中心

議論百出せん

養蠶同業代議員總會 成行非常に注目さる

石城郡養蠶同業組合六年度豫算は明十四日組合事務所樓上に代議員總會を開いて決定する筈であるが未曾有の廉價低落に養蠶業者の悲鳴は一通でなく収入の大部分を占めてゐる神谷、平窪、大野の村落は全く想像外のものありその他の町村と雖も桑畑を他に變更する状態に勢ひ負擔金の滞納は増加し係員の督促も一向に効目なく強硬な態度を示せば不要を叫ばれるといつた形に既に農會と同業組合は當然合併すべきであるとの意向を持する者が相當に多かつただけに別項農會廢止論者と相呼應して合併論を唱へてゐる向きも觀られるが當日は相當に削減を見る模様で當然議論の沸騰を來すものと見ねばならぬに非常になり行きを監視されてゐる

平穀物検査

二月中の成績

平穀物検査支に於ける去

間違宣傳

見ると、いたみがか 着しましたがいななりひどかつた。そこでこんなのを賣つては……と取かへを命じたが、さて變りては……と容は喜んで買つて行つたといふの味いたしてあります。のみなならず悪しからずお許し願ひます、こゝに謹んでおわびいたします。間違ひはやむを得ないこととどこまでも正直にゆくこととす。

優良納稅組合

四倉町表彰式

石城郡四倉町では明十四日午前十時より同町小學校に於いて昭和四年度の優良納稅組合三十一組人員五百二十三名の表彰式を行ふ

不正苗移入

犯人三名發見

本縣の大規模桑園改植をあて込んで縣外からドク不正桑苗が移入されるので縣ではこれが防止に躍起となつてゐるが今回石城、相馬兩郡下に於いて不正商人

三名を發見したので縣蠶糸課では告發手續中



平町人事

△出 生
△平町四丁目三二 百澤才八郎氏四女トシ子
△八幡小路七六 松浦章氏二女千鶴子
△五丁目二六 佐々木浦吉氏四男久
△死 亡
△四丁目一七 石川喜男(二二)

内羅専門妙藥 愛馬散 小野屋藥店

豫告

櫻花假裝廣告 ウィンド裝飾 大懸賞 期日四月十二日(日曜日)

詳細はいはき新報ニテ十五日發表 主催 いはき新報社 高木 喬

平町 役場 平商業學校商友會 常磐毎日新聞社 磐城新聞社 新いわき新聞社 磐城時報社

別科 (1)本科五十名 (2)裁縫專修科百名 (3)師範科三十名 (4)專攻科二十名 (5)第二學年編入若干名

藤田女學校生徒募集

文部大臣認可 注意 入學志望ノ方ハ至急願書提出ノコト 詳細ハ本校宛學則請求サレタシ 福島縣平町田町電話「三二八」番



淋病 皮膚病 婦人病 腸胃病 腸胃病 十二指腸病 門專 院醫科 松村 七〇一話電 町南平

着陸せんとする刹那

七四二二號機大破

折柄の突風にあふられ 今朝小名濱海岸の椿事 遂に飛行不能となる

昨十三日より四日間小名濱伊豆間の氣流試験飛行を行ひつゝある立川航空隊第五聯隊附屬七四三號機は大隊長梅少佐指揮宗像少尉操縦栗原少尉同乗して今朝十時二十分頃小名濱海岸に着陸せんとする刹那折柄風速十八メートルの突風にあふられて機首を海岸砂中に突込みプロペラー及車輪を大破し飛行不能に陥つたが前記三乗員はいづれも無事で立川本隊へ宛て救援飛行機の至急出張方を打電した尙之がため同海岸附近は一時大混雑を呈した

罵られて

酒飲の喧嘩
顔を殴つたり
傷をつけたり

石城郡赤井村諏訪原遠藤茂平(三)は昨十三日午後四時頃同村赤井前増田三郎方にて飲酒中そこへ來合せた同村不動堂吉田佐内(五)と對談し佐内に口きたなく罵られた爲め喧嘩となり逃げんとした佐内の顔を殴つた事擧句左腕に全治三週間の重傷を負はせた

隣縣漁民百五十名が

四倉港で従業

船主側の契約不履行から 大津町の争議再び悪化する

磐城社民支部活躍

過般茨城縣の大津町漁夫百五十餘名は社民黨石城支部の應援を受けて貸銀値上げ外數件を船主側に要求し争議を行つたが仲裁者が出て去る七日

一先づ 解決したとこ

結果今十三日から二十五馬力漁船四艘を借り受け四倉港を歸港地として
漁業に 従事し歩合は船主三分漁夫七分となす

火葬料を減じて呉れ

死人から御願ひ

余り高くては 土葬が殖えてゆくと お互ひに怨めしい聲

すさまじい不景氣風が死人にまで吹き荒んで火葬にするのが漸減したことは既報の如くであるが町營の平火葬場で昨年中に取扱つた火葬の数は大人百七十一件この料金は八百五十五圓、小人六十五件同百九十五圓計二百三十六件の千五百圓これを

前年度に比較すると驚くなれ全部を通じ七十

一件料金を三百餘圓の大激減、町當局としてもまさか今年の火葬は大体大人何人子供何人、この料金何圓なんて豫算に編むわけにもいかないからたとへ収入が半

救護を嘆願

餓死線上から

石城郡内郷村高坂根本藤平外十七名は十二日連署の上村當局に對して働くに職がなく食ふに米がなく餓死をまつばかりであるから何とか救護してくれと嘆願書を提出した

自轉車の 窃盗犯捕る

余罪續々

十二日午後四時頃平町鎌田町地内を徘徊中の舉動不審の男を平署員が発見し取調を行つた處右は石城郡四倉町仲町古川竹松(三)として去月十日頃平町一丁目三浦洋服店々頭に陳列されてあつた紺色オートバイ一着價格十五圓を窃取し去る十日四倉町野木直行方より自轉車一臺價格三十五圓を窃盜した事自白に及んだが相當余罪あるらしく目下嚴重取調中である

徴兵検査も受けず

浪々旅から旅へ

良心に責められて 本日平署へ自首す

石城郡鎌田町一五渡邊國五郎(三)は六年前實家を出奔して行衛を晦まし旅から旅へ全國を經廻つて歩いてゐたが徴兵適齡に際しても受けずに過したので良心の苛責に堪えかね日夜煩悶してゐたが本日遂に平署へこの

婦女を誘拐

係官吃驚

石城郡内郷村宮周旋業山邊

留吉(三)は同村佐川留之助二女まつ(七)を誘拐東京府下寺島町玉の井の某飲食店に酌婦に賣渡したと發覺する十日平署に檢舉され拘留十日に處されて取調べを受けてゐるが同人は婦女語柄には天才的手腕を有し現在判明した分だけでも二十餘件あり更に續出の模様で取調の係員もその物凄さに一驚してゐる

強盜未遂の

お尋ね者

内郷で捕る

十一日午後九時頃石城郡内郷村宮地内を徘徊する舉動下審の男を平署員が引致嚴重取調へた所右は茨城縣結

社告

今般我が社が計畫したる郡下タクシ界の人氣投票募集はその後着々と準備を整へて愈々近日中に詳細を發表することになりましたから茲に豫め愛讀者各位の御援助を仰ぐ次第であります
三月十三日

常警毎日新聞社

君知るや

山崎時計店

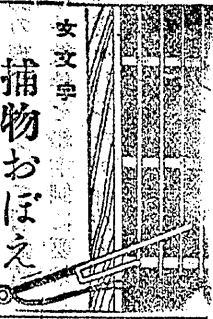
親切で堅くて信用のある店
修繕物は叮嚀・迅速・破額なり

山崎時計専門店

五丁目新川町通リ
(吉田屋築物店前)

キングパスト

理想的耐水耐熱接合劑
水か微温湯で溶せばすぐ使へる簡単な膠着劑
一名コナニカワ
四季を通じて一度ついたら膠着力は絶對的だす
理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發せし防腐の効果著し
小野屋藥店
電話一四四番



捕物おぼえ

東京橋場鮎刺 (米田安蔵)

「お師さん、昨夜は……」
「オヤ、お千代さんかね、今朝使ひを上げたよ、支度につけては氣の毒だと思つてね……」
「お師さん、昨夜は……」
「オヤ、お千代さんかね、今朝使ひを上げたよ、支度につけては氣の毒だと思つてね……」

「お師さん、昨夜は……」
「オヤ、お千代さんかね、今朝使ひを上げたよ、支度につけては氣の毒だと思つてね……」



「お師さん、昨夜は……」
「オヤ、お千代さんかね、今朝使ひを上げたよ、支度につけては氣の毒だと思つてね……」

「お師さん、昨夜は……」
「オヤ、お千代さんかね、今朝使ひを上げたよ、支度につけては氣の毒だと思つてね……」

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器
關内藥局
電話四〇番



迅 配 達 速

て總は命用御の物刷印
番〇三六話電 會株式 刷印日每警常

お將西油は……ヤマフル
醬油味噌 たひら 正宗 鯉節 食料品
鹽屋 山崎合名會社
電話(營業部)一〇番(製造工場)二七番

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雜誌が 自由に讀める
川崎巡 回文庫
電話六三〇番 (申込次第規程書進呈)

耳鼻咽喉科専門 氣管食道科
大和田醫院
平南町(舊診療所向)電話一七〇番

甘餘名博士 推薦 胃腸病、婦人病必治法
五十餘名醫大家
價定 特大 拾參圓 特小 拾圓
東洋大醫學部
志賀齒科醫院
平町五丁目廿八
平町白銀町九
產婆 關口悦子

第卅 產婆看護婦 募集
三回 卒業年限 兩科ヲ通ジテ一ケ年
一入學資格 高等小學卒業又ハ同等以
上ノ學力有ル者へ無試驗入學ヲ許ス
一申込期日 四月八日迄
平町一丁目 (電話三五七番)
石城 產婆看護婦學校
校長 鷹崎千代